

2023年度 学校関係者評価シート

自己点検報告書に基づき、学校関係者評価委員会において、次のとおり評価した。

《評価委員》

北田委員(きただ治療院) 福末委員(古都治療院) 山内委員(やまうち治療院)
丸尾委員(堂阪医療器製作所) 山下委員(ハリリア京都)
小林委員(学校長) 岩崎委員(事務部長) 松尾委員(副校長補佐)

《評価区分》

5 極めて適切に行われている 4 適切に行われている 3 普通
2 適切にややかける 1 適切でない NA あてはまらない

評価項目	評価
基準1 教育理念・目的・育成人材像	
1-1	<p>理念・目的・育成人材像</p> <p>生命尊厳の平等観の理念に基づいた医療人を輩出するべく学校関係者評価委員の意見も踏まえて努力していることは評価できる。</p> <p>また、教育レベルの底上げにより、国家試験においても合格率の上昇がみられた。</p>
基準2 学校運営	
2-2	<p>運営方針</p> <p>法人評議委員会、理事会において承認された事業計画及び予算に基づいて運営され、尚且つ学校関係者評価委員に意見・評価を求めることは評価できる。</p>
2-3	<p>事業計画</p> <p>事業計画書を定め、課題解決策を図っているのは評価できる。</p> <p>また、引き続き臨床実習協力者の増加に向けても取り組んでもらいたい。</p>
2-4	<p>運営組織</p> <p>学校運営会議の組織において事業計画に基づき運営されている。</p>
2-5	<p>人事・給与制度</p> <p>客観的かつ公平に実施されていると考える。</p>
2-6	<p>意思決定システム</p> <p>毎週の学校運営会議や教務会議、評議委員会、理事会のシステムが整備されている</p>

2-7	情報システム	テレワークやリモート授業、オンライン会議が行える環境が整備されており、評価できる。	5
基準 3 教育活動			
3-8	目標の設定	業界や医療界のニーズに応えるべく目標を設定されている。 それを実施するため授業時間数を設定され目標達成にむけて尽力されている。 京都仏眼に通うことにより、どのようなあはき師になれるのかといったことをさらに発信していくことも重要であると考えている。	4
3-9	教育方法・評価等	基礎の実践を反復することにより、卒業後すぐに実践できるよう教育がなされている。また教育課程編成委員や学校関係者評価委員を組織し、様々な方面から意見を聞かれている	5
3-10	成績評価・単位認定等	シラバス等により明確な成績基準を設け平等な評価をしている。 また、東洋療法学校協会学術大会においても継続して学生発表がなされていることも評価できる。	5
3-11	資格・免許の取得の指導体制	国家免許取得に向けた教育課程や、国家試験対策講義を実施されている。また成績が芳しくない生徒には学習指導を個別になされている 今年度もオンデマンド配信方式とハイブリット形式による国家試験対策講義を実施しており、国家試験合格率が向上したことも評価できる。	5
3-12	教員・教員組織	多方面から教員及び講師を招いて授業が行われており、評価できる。	5
基準 4 学修成果			
4-13	就職率	就職率 100%を目指し、さらなる就活支援を進めていただきたい。	4
4-14	資格・免許の取得率	国家試験の合格率が向上していることは評価できる。 引き続き合格率 100%を目指していただきたい。 また、既卒者の合格率が向上したことも大変評価できる。	5
4-15	卒業生の社会的評価	卒業生講演会の実施は大変評価できる。 また、同窓会の卒後研修会などは大変意義深いと考える。	5
基準 5 学生支援			
5-16	就職等進路	就職活動支援を行っているが、更なる支援体制の構築・整備が必要と思われる。	4
5-17	中途退学への対応	奨学金制度は生徒のやる気につながるので評価できる。 また、スクールカウンセラーのサポートを持てるようになり、怠学防止にとってもよい取り組みであると評価できる。	5

5-18	学生相談	担任・教務・事務と個別の相談が出来るようになっているが、それぞれが連携をとられて問題の共有を図られている	5
5-19	学生生活	高等教育無償化制度の対象校となっていること、成績優秀者には奨学金を受けられる制度となっていることなど、経済的支援にも積極的に取り組んでいる。	5
5-20	保護者との連携	保証人へ成績・出席状況等を通知していることは、生徒の状況を早期に把握でき対応できるので望ましい。	5
5-21	卒業生・社会人	卒業研修会の実施など卒業生のスキルアップに関する取り組みを積極的に実施している。	4
基準 6 教育環境			
6-22	施設・設備等	オンライン授業等にも対応できる設備が構築されている。	5
6-23	学外実習、インターンシップ等	もぐさ工場の見学や京都府立盲学校との手技交流会の実践を実施されていることは評価できる。	4
6-24	防災・安全管理	避難訓練の実施や自衛消防隊の構築等、災害に対する部分については今後さらなる取り組みが必要であると思われる。 落鍼等のインシデント等に関しては十分に対応がなされている。	4
基準 7 学生の募集と受入れ			
7-25	学生募集活動は、適正に行われているか	高校への学校説明やオープンキャンパス内容など種々の工夫がなされている。 「学校の特色」のさらなる発信が必要かと思われる。	4
7-26	入学選考	選考基準を明確にして適切に運用されており、評価できる。	5
7-27	学納金	他校と比べても適切な算定額だと思われる。また、独自の奨学金制度が設定されていることも評価できる。	5
基準 8 財務			
8-28	財務基盤	適切な構築及び実施がされていると思われる。	5
8-29	予算・収支計画	適切な策定、管理が行われていると思われる。	5
8-30	監査	適切に監査が行われていると思われる。	5
8-31	財務情報の公開	財務情報の閲覧を希望する者に公開しているのは評価できる。	5
基準 9 法令等の遵守			
9-32	関係法令、設備基準等の遵守	関係法令を遵守し、適正な学校運営が行われていると思われる。	5
9-33	個人情報保護	個人情報に関して、平時施錠・データ等の学外への持ち出しを禁止するなど適正に管理されていると思われる。	5
9-34	学校評価	自己点検・評価委員会を設置しており、評価できる。 また、関係者評価委員の評価に基づいて改善が図られていることも評価できる。	5
9-35	教育情報の公開	シラバス・成績評価方法などをホームページに公表されていて評価できる。	5

基準 10 社会貢献・地域貢献			
10-36	社会貢献・地域貢献	近隣の方を中心に臨床実習協力者として施術を受けてもらう等、地域との交流も図られている。	5
10-37	ボランティア活動	京都府専修学校各種学校協会の体育大会におけるマッサージボランティアブースの設置や、京都マラソンでの京都府鍼灸マッサージ師会の受付誘導の補助などの活動は評価できる。	5